



長生園…5月に入所者の皆様が、園内の畑で枝豆を植えている様子

社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 組織及び事業

事務局管理課	
在宅サービス課	老人居宅介護等事業・訪問入浴介護事業・居宅介護支援事業・障害福祉サービス事業・訪問入浴サービス事業
うみねこ学園	障害児入所施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談事業
うみねこ塾	障害児通所支援事業
いちい寮	障害者支援施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・日中一時支援事業
長生園	養護老人ホーム
長生園デイサービスセンター	老人デイサービス事業
ケアプランセンター長生園	居宅介護支援事業
浩浩学園	児童養護施設
小菊荘	母子生活支援施設

## 新女子棟紹介

## 障害者支援施設 いちい寮

いちい寮では、入所者のプライバシーの確保や高齢化、障害特性の多様化に対応するため、昨年7月上旬から10月下旬にかけて、旧うみねこ学園男子棟を改修工事し、新しい女子棟としました。10月30日に女子入所者が引越しを行い、新しい環境に少しずつ慣れるよう配慮しながら、新女子棟での生活が始まりました。

改修で大きく変わった箇所は、トイレ・洗面所です。トイレと洗面所の界壁を撤去し、車椅子、歩行器の方でも広く使いやすい形としました。加えて個室に手すりをつけたことで、立ち上がりや方向転換も安定するようになりました。入所者からは、「介助がなくても車椅子でトイレに行けるようになった」「トイレがきれいになって嬉しい」「トイレが明るくなった」と、新しくなったトイレが気に入ったようでした。

また、全ての居室は畳などを撤去し、段差をなくすとともに、床は柔らかい素材を使用し、もし転倒があっても危険がないよう配慮しました。収納スペースも増え、入所者は広々と居室を使うことができるようになり、「お部屋が広くなって嬉しい」「掃除もしやすくなった」と、引越し前との違いを喜んでいました。

引越しをしてまもなく1年になりますが、新しい環境のもと、1日の流れに慣れてきたようで、毎日楽しく過ごしています。

また、女子棟の廊下は一直線なため、歩行器を使用する方の歩行訓練ができるようになり、他の入所者にもぶつかることなく、安全に訓練ができ、職員も安全確認がしつかりとできるようになりました。また、全ての居室・ホール・脱衣場にエアコンが設置され、快適に過ごせるようになりました。これからも入所者に合った環境、支援を提供できるよう努めていきたいと思えます。

(高橋 博巳)



## 管理棟トイレ改修工事について

## 養護老人ホーム 長生園

長生園管理棟の男子・女子トイレには和式と洋式があり、昔から使い慣れている和式を使用する方もまだまだいらっしゃいます。しかしながら、入所者の方々も年を重ね、足腰に痛みを感じる方や、床からの立ち上がりに不安を覚える方も増えてきました。

個室内には具合が悪くなった方用にナースコールが設置されていますが、ここ数年では、しゃがんだ状態から立ち上がれなくなり、ナースコールを押される方が増えました。また、歩行が不安定な方は使用している歩行器等をドア前に置いてトイレを使用しますが、ドアが内扉になっていることから、トイレから出る際にバランスを崩し転倒してしまう危険もあります。実際に昨年から今年にかけて、トイレでの転倒事故は増えています。

そうした状況を踏まえ、今年度管理棟のトイレをすべて洋式にする工事を行うことになり、12月には完成予定です。和式から洋式へ、また床の張替、ドアの変更等全面的な改修となります。

入所者の皆さまが転倒等事故なく安全に、そして快適に使用していただけることを望みながら完成を待ちたいと思います。

(池田 真希子)



## 自力登下校について

### 障害児入所施設 うみねこ学園

うみねこ学園が鯨地区に移転して2年目。

通学生と変わらない生活環境で学校生活を送れるよう、4月から、これまでの集団登下校から自力登下校へと変更することにしました。

学園から八戸高等支援学校まで約五百メートルの一本道を小・中学生と見守りが必要な高校生は職員と共に、保護者の同意を得た子は、自分たちで時間を見て登校しています。

学園の朝は、時間との戦いです。登校渋りをする子、自力での登下校が難しく公用車の送迎で通学する子などがある中で、自力登校の子たちは、自分で準備し、突然の雨などその日の状況に合わせ、登校できるようになりました。「自力登下校になった」と学校の先生から言われるようになりました。

高校生の中には夕方までアスリートクラブ（部活動）やパソコン検定等の練習に参加する子もおり、帰園時間が遅くなる子もいますが、一人で帰園できるように努力しました。

時には、夕食の時間が他の子よりも遅れてしまうこともあります。学園ではそういった子にも温



かい食事が提供できるように対応しています。一日学校での授業や活動に励んで帰ってくる子どもたちを見ると、「今日も一日お疲れ様」という思いを込めて「おかえり」と出迎えます。

（浅田 千草）

## 2年目を迎えました

### 放課後等デイサービスセンター

うみねこ塾

うみねこ塾は昨年の4月に開設してから2年目となります。当事業所は7～18歳までの就学児童を対象としており、学校終了後及び休業日に、個々の状態や課題に合わせた個別支援計画のもと、集団指導・個別指導を行いながら支援をしています。

当事業所での活動内容としては、それぞれの子どもたちが自由に過ごす余暇活動の他に選択プログラムの時間を設定しており、「体力・運動強化コース」「生活スキルコース」「学習主体コース」から選択していただき、

その中で個々に合わせた活動を行っています。毎日の活動に加えて、外部講師による週1回の絵画教室、書道教室、スポーツ教室を開いています。また、言語聴覚士の先生を招き、週1回の言語訓練も行っており、個々に合わせた課題や遊びを通して、言語・コミュニケーション能力の向上を図ることを目的としています。利用している子どもたちは先生との時間を楽しみにしており、保護者の皆さん

からも好評をいただいております。

利用児童の進学に伴い、今年度からは八戸高等支援学校への迎車サービスも始めました。学校と連携して利用児童を塾まで安全に送ることができるよう心がけています。

夏休みなどの長期休暇中は、子どもたちがメリハリのある充実した時間を過ごせるように、ウォーキング、清掃、作品の制作など曜日ごとに様々な活動を行っています。

また、調理活動や公共交通機関を利用した外出訓練を行い、楽しみながら実用的な生活スキルを身に付ける活動も行っています。

事業開始より1年を経て、様々な活動やサービスを提供できる体制が整ってきました。2年目の課題は、1週間を通して安定した利用児童数を確保することです。そのために、毎月のホームページ更新や定期的な通信の発行を行い、活動の様子と利用児童数の状況をお知らせすることで、当塾の魅力を発信し利用児童の獲得につながるよう努力していきたいと考えています。

（永瀬 健二）



# 分園小規模施設、開設します！

児童養護施設 浩々学園

浩々学園では、平成 29 年に策定した新しい社会的養育ビジョンに基づく推進計画に従って、今年 11 月から新たに分園型小規模グループケアを開設します。開設先は本体施設と同じ根城地区（八戸市総合福祉会館隣、旧八戸市休日夜間急病診療所）で、現在改修工事を行っております。地域や学校関係者が変わらず、子どもたちが安心して生活できる環境を提供することができます。

- ・分園小規模グループケアには、次のようなメリットがあります。
- ・一般家庭に近い生活体験を持ちやすい。
- ・一人一人の子どもの生活に目が届き、個別の状況に合わせた対応がとりやすい。
- ・一人一部屋となることから集団生活によるストレスが少なく、子どもの生活が落ち着きやすい。
- ・日課や規則など管理的になりやすい大舎制と異なり、柔軟に運営できる。
- ・自立を意識し、意図的に子どもに関わることができる。

児童養護施設における小規模化は、施設運営を縮小するのではなく、その機能を地域へ分散し、地域支援へと拡大させ、施設の役割を大きく発展させることを目的としています。浩々学園の小規模グループケアにおいては、大きな課題を持つ子どもについては職員体制の厚い本園で支援し、自立が近い子どもについては分園で支援するなど、本園と分園の特徴を生かした支援を提供できるものと確信しています。職員一丸となって、よりよい充実した支援ができるよう邁進してまいります。

(新井山 智弘)



# 介護現場における ICT 化

在宅サービス課

現在、国では介護現場における ICT 化を推進しています。このことに伴い、在宅サービス課では今年度新たに ICT 機器・クラウドサービスを導入しました。

具体的な運用方法としては、訪問介護に従事するヘルパーが、導入した専用スマートフォンを携帯し、現場でこれら操作することで、事業所にいるサービス提供責任者（以下「サ責」）とリアルタイムで情報のやり取りをしています。

これまでは、利用者の状況や実施したサービスの内容などについて、サ責とヘルパーが何度か電話で確認しないと正確な情報共有ができませんでした。

ICT 化により、情報共有が強化され、サ責はヘルパーのサービス提供後、リアルタイムでサービスの提供記録を確認することができるようになりました。また、サ責からの指示やヘルパーからの報告など随時行うことができます。

しかし、専用スマートフォンを導入前は、スマートフォンを持たないヘルパーもいた



(中村 香織)

ことから、スムーズに正確な操作ができるか心配もありました。そのため、導入後の 4 月・5 月を移行期間として、期間中は「スマートフォン操作」「クラウドサービスの機能・操作」について研修を行いました。

研修を重ねていく中で、次第に操作にも慣れ、6 月の本格導入に間に合いました。（ヘルパーをはじめ、職員の皆さんは本当によく頑張りました！）

今後は、ICT を活用した業務改善に取り組み、サ責とヘルパーが一体となった、より質の高いサービスの提供を行ってまいります。

介護のことでお困りごとがある方は、ぜひお気軽に当課へご相談ください。

花壇の整備について

母子生活支援施設 小菊荘



小菊荘では、5月15日(土)、八戸ロータリークラブ様から寄附していただいた花や野菜の苗を植えるため、子ども会花壇作りを行いました。当日は、八戸ロータリークラブの皆様も来てくださり、入所している子どもたちと職員も一緒に植えました。暑い中、マスクを着用し、感染対策をしながらの作業でしたが、子どもたちは、「楽しい」と言いながら、花や野菜の苗を植えたり水やりをしていました。「キュウリやトマトは、いつ食べられるの?」と収穫を楽しみにしている様子でした。

(佐藤 あかね)

コロナ禍で行事が制限される中、久しぶりにみんなで一緒に楽しむことができました。

青森県認証評価制度の事業所として認証を受けました。

令和2年9月に青森県介護サービス事業所として、令和3年2月に青森県障害福祉サービス事業所として認証を受けました。

介護サービス事業所認証対象施設 (課)



- 在宅サービス課
  - ・訪問介護
  - ・訪問入浴
  - ・居宅介護支援
- 養護老人ホーム長生園
- 長生園デイサービスセンター
- ケアプランセンター長生園

障害福祉サービス認証対象施設 (課)



- 在宅サービス課
  - ・障害福祉サービス
- 障害児入所施設うみねこ学園
- 放課後等デイサービスセンター  
うみねこ塾
- 障害者支援施設いちい寮

○青森県認証評価制度とは、人材確保・育成、サービスの質の向上などに積極的に取り組んでいる事業所について、県が定めた評価基準を満たしている事業所を認証し、公表する制度です。

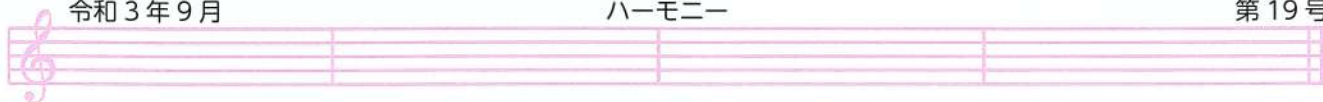
詳細は下記の URL からご確認ください。

- ・青森県介護サービス事業所認証評価制度

<https://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/welfare/kaigo-ninsyo.html>

- ・青森県保育・障害福祉サービス事業所等認証評価制度

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/kodomo/hoiku-shogai-ninshohyoka.html>



## 新たな理念を制定しました。

当事業団は、平成10年の設立以来、幾度かの変遷を経て、平成21年から、現在の事業形態となりました。近年は長生園大規模改修、うみねこ学園の移転改築、そして、うみねこ塾の開設と歩んできましたが、多くの課題を抱えており、国の法改正、八戸市の地域福祉計画と共に、事業団も進化し続ける必要があります。

このことから、事業団の向かうべき方向性を示すことにより、地域社会に対し、事業団の役割をアピールするとともに、職員一人ひとりが向かうべき方向性について納得し、自信をもって仕事に取り組めるよう指針を示すため、新たな理念を制定しました。

この新しい理念を胸に、これからも地域福祉への貢献と、より良いサービスの提供に励んで参ります。

### 社会福祉法人八戸市社会福祉事業団理念

社会福祉法人八戸市社会福祉事業団は、誰もが健康で、共に支え合う安心・安全な地域社会を実現するために、地域福祉の推進に貢献することとし、次のとおり法人の理念を掲げます

- 1 私たちは、多様な福祉サービスを提供しながらセーフティネットの一翼を担い、地域福祉の推進に貢献します
- 1 私たちは、利用者一人ひとりの人権・人格・個性を尊重し、福祉サービスを通じて、自分らしく生きることを支援します
- 1 私たちは、常に利用者のニーズに応える新たな福祉サービスを創造し、これを発信して地域の福祉力の向上に貢献します
- 1 私たちは、高い専門性と豊かな人間性を備え、利用者のニーズに敏感で、それに応える具体的な福祉サービスを提供できる職員を育成します
- 1 私たちは、法令を遵守し、透明性が高く健全で効率的な、信頼される法人運営に努めます



## 事業団の紋章を制定しました。



## 社会福祉法人 八戸市社会福祉事業団

事業団の新理念を視覚的に表現するために、紋章を公募し、役職員全員による投票で決定しました。  
ご応募いただいた皆様、ありがとうございました。

### ～紋章の説明～

理念を実現していくために、常に成長していきたいという思いを形にしています。また、地域の人たちと「共に支えあい」、「自分らしく生き活きと生きる」様子を、四つ葉のクローバーは「よろこび」と「しあわせ」を、紋章の色は、「多様性」を表しています。さらに、人をイメージした2つの形は、「八戸市のH」を表しています。



# 新任職員紹介



在宅サービス課  
訪問介護員 はしもと なみこ 橋本 波子  
趣味：映画鑑賞、ジグソーパズル  
精いっぱい頑張ります。宜しくお願いします。



うみねこ学園  
保育士 まつはし さとみ 松橋 里美  
趣味：うみねこ達と戯れること  
持ち前の明るさで頑張ります。



うみねこ学園  
保育士 たてやなぎ りお 館柳 璃櫻  
趣味：洋画鑑賞  
率先躬行（そっせんきゆうこう）！  
頑張ります！



うみねこ塾  
児童指導員 ながせ けんじ 永瀬 健二  
趣味：映画観賞  
事業団の一員として励んで参ります。



いちい寮  
生活支援員 あだち しずえ 足立 静恵  
趣味：サイクリング、アウトドアキャンプ  
丁寧な対応を心掛け、支援していきます。



いちい寮  
生活支援員 なかむら まゆみ 中村 真由美  
趣味：針と糸を使ったアクセサリー作り  
4月よりいちい寮に配属されました。宜しくお願い致します。



いちい寮  
生活支援員 ひろた まさと 廣田 優斗  
趣味：釣り、ドライブ、ゲーム  
一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。



長生園  
支援員 たまかわ ゆうり 玉川 悠理  
趣味：映画鑑賞  
入所者が安全に過ごせるよう支援します。



長生園  
看護師 おおくぼ ちえ 大久保 智江  
趣味：映画鑑賞、温泉巡り  
入所者様の健康を守るよう頑張ります。



長生園  
栄養士 みなとや なつみ 湊屋 夏実  
趣味：お菓子づくり  
おいしい食事の提供に努めていきたいと思ひます。



長生園デイサービスセンター  
介護員 まつくら よしひろ 松倉 義弘  
趣味：旅行、映画鑑賞  
臨時職員から正社員へ。今後はより  
気合を入れて頑張ります。



長生園デイサービスセンター  
看護師 おおまえ りえ 大前 利恵  
趣味：ゲーム  
皆様に心地よく過ごして頂けるように  
頑張ります。



浩々学園  
児童指導員 なるみ 鳴海 あさひ  
趣味：ドライブ  
社会人1年目ですが、これから成長  
していきたいです。

※掲載しているすべての写真は、本人及び保護者より許可を得ています。

# 令和2年度 決算報告

資金収支計算書 (自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動収入計(1)	978,550,000	978,807,610	△ 257,610
事業活動支出計(2)	922,454,000	881,807,006	40,646,994
事業活動資金収支差異(3)	56,096,000	97,000,604	△ 40,904,604
施設整備等収入計(4)	0	33,014,000	△ 33,014,000
施設整備等支出計(5)	95,217,000	122,853,591	△ 27,636,591
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 95,217,000	△ 89,839,591	△ 5,377,409
その他の活動収入計(7)	0	0	0
その他の活動支出計(8)	67,054,000	50,013,936	17,040,064
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	△ 67,054,000	△ 50,013,936	△ 17,040,064
予備費支出(10)		-	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 106,175,000	△ 42,852,923	△ 63,322,077
前期末支払資金残高(12)	425,330,000	425,333,045	△ 3,045
当期末支払資金残高(11) + (12)	319,155,000	382,480,122	△ 63,325,122

事業活動計算書 (自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計(1)	975,069,569	866,308,270	108,761,299
サービス活動費用計(2)	917,891,275	872,371,456	45,519,819
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	57,178,294	△ 6,063,186	63,241,480
サービス活動外収益計(4)	3,738,041	3,954,063	△ 216,022
サービス活動外費用計(5)	2,771,999	2,379,885	392,114
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	966,042	1,574,178	△ 608,136
経常増減差額(7) = (3) + (6)	58,144,336	△ 4,489,008	62,633,344
特別収益計(8)	6,288,612	247,360,000	△ 241,071,388
特別費用計(9)	5,118,087	247,320,006	△ 242,201,919
特別増減差額(10) = (8) - (9)	1,170,525	39,994	1,130,531
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	59,314,861	△ 4,449,014	63,763,875
前期繰越活動増減差額(12)	655,415,523	434,231,537	221,183,986
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	714,730,384	429,782,523	284,947,861
基本金取崩額(14)			
その他の積立金取崩額(15)		266,633,000	△ 266,633,000
その他の積立金積立額(16)	50,013,936	41,000,000	9,013,936
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	664,716,448	655,415,523	9,300,925

貸借対照表 令和3年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	431,978,574	869,199,395	△ 437,220,821	流動負債	85,839,125	467,812,110	△ 381,972,985
				固定負債	254,549,000	270,000,000	△ 15,451,000
固定資産	1,907,440,991	1,842,835,397	64,605,594	負債の部合計	340,388,125	737,812,110	△ 397,423,985
				純資産の部			
基本財産	1,361,168,708	725,432,735	635,735,973	基本金	3,000,000	3,000,000	
				国庫補助金等特別積立金	894,604,756	929,110,859	△ 34,506,103
その他の固定資産	546,272,283	1,117,402,662	△ 571,130,379	その他の積立金	436,710,236	386,696,300	50,013,936
				次期繰越活動増減差額	664,716,448	655,415,523	9,300,925
資産の部合計	2,339,419,565	2,712,034,792	△ 372,615,227	(うち当期活動増減差額)	59,314,861	△ 4,449,014	63,763,875
				純資産の部合計	1,999,031,440	1,974,222,682	24,808,758
				負債及び純資産の部合計	2,339,419,565	2,712,034,792	△ 372,615,227